

講義名	中国文化研究		
科目区分	グローバル		
担当教員	市成 直子		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 5時限	授業形態	
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

主題と概要
中国小説史 ―中国小説の世界― 中国小説の歴史(古代～近代まで)をたどりながら、その起源から変遷と発展を知り、多種多様な作品が存在することを理解する。作品中に垣間見える中国の文化にも触れる。

到達目標
『三国志』や『西遊記』だけでなく、中国小説・物語と呼ばれるものには様々な内容、ジャンルの作品があり、それが現代にも息づいている状況を理解する。

提出課題
毎回授業時に各自小レポートを作成し、提出する。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバック
学生諸君が提出した小レポートの内容に基づき、授業時に適宜講義内容を確認する。講義内容について各自が理解度を測る。

評価の基準
小レポート：60% 授業への積極的参加度：40%

履修にあたっての注意・助言他
毎回の授業内容を理解できていなければ、授業内容に即した小レポートは作成できない。インターネット等での表面的な検索結果を使用してレポートを作成し、提出することは認められない。

教科書
.使用しない。

プリント資料及び参考文献
必要に応じて授業時にプリント資料を配布する。

授業計画
第1回 授業について 中国における「小説」という言葉について 第2回 「神話」における物語性 第3回 「思想書」の物語 第4回 「歴史書」の物語 第5回～第7回 「六朝志怪小説」と「志人小説」 第8回～第11回 「唐代伝奇小説」 第12回～第13回 「明代の小説」 第14回 「清代の小説」 第15回 「魯迅へ」

授業形態(アクティブ・ラーニング)
ア：PBL(課題解決型学習)
イ：反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間
予習 授業で取り上げる作品はどのようなものなのか調べて、確認しておく。(1時間程度) 配布された資料を熟読し、内容を理解しておく。(1時間30分程度)
復習 授業内容について的小レポートを作成する。(30分程度) フィードバックを通して、提出した小レポートの内容を確認し、訂正加筆する。(1時間程度)

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考